

# 四日市港管理組合議会ニューズ

Yokkaichi Port Authority Assembly

第50号(平成30年5月発行)

平成29年12月5日(火)に平成29年第4回定例会が開会され、12月22日(金)に一般質問と議案5件の審議が行われました。

一般質問では、山本勝議員(三重県議会選出)と谷口周司議員(四日市市議会選出)が下記のとおり管理組合執行部の見解を質しました。

## 主な質問・答弁要旨

山本 勝 議員



### ○ 四日市港利用促進協議会がベトナムへ派遣した四日市港アジア訪問団の成果と、四日市港のコンテナ貨物量の拡大に向けての海外戦略についてお伺いしたい。

◎ 平成29年11月にベトナムを訪れた四日市港アジア訪問団では、同国最大のコンテナターミナル運営事業者の幹部との会談や、「四日市港セミナー イン ホーチミン」の開催を実施し、四日市港の利用について管理者自らトップセールスを行ってきた。

現在ベトナムとの間にはコンテナ定期航路が週5便就航していることや、三重県、四日市市とベトナム政府や自治体との行政間の交流が活発であることなどの強みに加え、今回の訪問において構築したネットワークを活用することで、さらなるコンテナ取扱量の拡大につなげていきたいと考えている。

海外戦略については、企業の物流ニーズに応じていくことが、四日市港のコンテナ貨物量の拡大につながるものと考え、船会社への既存航路の維持拡充や新規航路の開設、荷主企業への四日市港のさらなる利用拡大を働きかけていく。また、三重県や四日市市の海外戦略施策と連携するとともに、海外訪問等さまざまな機会を捉えて、トップ自らが海外への発信もしていく。

谷口 周司 議員



### ○ 親しまれる港づくりに向けては、四日市港に対する市民のイメージやニーズを把握することが重要だと考えるが、今後どのように取り組んでいくのか見解を聞きたい

◎ 親しまれる港づくりを実現するためには、県民・市民の港に対するイメージやニーズの把握が重要であると考えている、

四日市市の市政アンケートによると、四日市港のことがわからないと回答される方が多いので、まずは四日市港のことを知っていただくとともに、管理組合独自のアンケートによると、来港された方の満足度は高いことから、港を訪れていただくよう取り組むことが重要であると考えている。

そのためには、現在行っているホームページやフェイスブックなどの電子媒体での情報発信に加え、広報よっかいちにおいて港での各種イベントの案内記事以外にも、特集などで港の記事を掲載していただくよう、市の広報部門との連携を深めていきたい。

また、県の広報部門への港のイベント情報の提供など、多様な広報媒体を活用していきたいと考えている。あわせて市内・県内の観光施設などへも、イベント情報やパンフレット、ポスターなどを配布して、広域的なPRを行っていきたい。

※詳細な質問答弁等については、当組合議会ホームページ会議録をご覧ください。